

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



〇概況

- ◆ 政策金利の誘導水準を据え置いた
- ◆ 物価の見方を上方修正。同時に将来的に物価が2%水準を上回っても利上げを加速しないとの見方を示唆
- ◆ 景気や物価の動きがほぼFRBの想定のパスとなっていることを踏まえれば6月に利上げが実施される可能性は高い

✓ FRBは5/1-2に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、政策金利の誘導水準を、全員一致の決定で、1.50-1.75%に据え置いた。

✓ 声明文では、物価判断を修正。物価の伸び率が「2%を下回る」との表現をこのところの指標の動きを踏まえて「2%に近づいた」と上方修正させた。一方で中期的なインフレ目標について従来の「2%」との表現から「2%を対称とした水準」に変更した。今回の物価判断の変更意図について、サンフランシスコ連銀のウィリアムズ総裁はインタビューで「インフレ率は目標を上回ることもあれば、下回ることもあろうが、平均して2%だということを伝えるシグナルだ」と述べている。インフレ率が2%に達しても機械的に利上げを加速させないとのメッセージであることを示唆。

✓ 3月時点でFRBの金融政策見通しの中心的な利上げ見通しは1回の利上げを0.25%として、2018年は残り2回、2019年3回、2020年2回であった。景気や物価の動きがほぼ想定のパスとなっていることを踏まえると、FRBは現行程度の緩やかな利上げを継続するであろう。6月12-13日のFOMCで利上げが実施される可能性は高い。

✓ 金融政策面では主要国中銀が、このところ利上げや量的緩和の解除に消極的となるなか、FRBの緩やかな利上げスタンスが目立ち、足もとのドル高の背景となっている。6月の利上げに向けた動きは引き続きドルの下支え材料となろう。

【FOMC参加者の見通し（3月時点）】

◆FRB見通し（中央値）

	2018		2019		2020		長期	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
GDP	2.7%↑	2.5%	2.4%↑	2.1%	2.0%	2.0%	1.8%	1.8%
コアPCE インフレ率	1.9%	1.9%	2.1%↑	2.0%	2.1%↑	2.0%	予測なし	予測なし
FF金利	2.13%	2.13%	2.88%↑	2.66%	3.38%↑	3.06%	2.88%↑	2.75%

(FFレート見通し内訳-FOMC参加者の人数)

FFレート	今後の利上げ回数	2018		2019		2020		Longer run	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
5.000									
4.875	13回						1		
4.750									
4.625	12回								
4.500									
4.375	11回								
4.250									
4.125	10回					2	1		
4.000									
3.875	9回				1				
3.750				1					
3.625	8回			1			2		
3.500						1	1		1
3.375	7回			2	3		5		
3.250							1		1
3.125	6回			1	2	5	1		
3.000						3		6	
2.875	5回			3	5	1			5
2.750				1	1			6	4
2.625	4回	1	1	4	1	2	2		1
2.500								2	1
2.375	3回	3	6	2		1			
2.250								1	1
2.125	2回	6	6		1				
2.000									
1.875	1回	3							
1.750									
1.625	現在	1	2	1	1		1		
1.500									
1.375		1		1		1			
1.250									
1.125		1							
平均値		2.016	2.192	2.695	2.917	3.016	3.325	2.783	2.866
中央値		2.125	2.125	2.663	2.875	3.063	3.375	2.750	2.875

■ 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース ■ 中央値 【出所】FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。